

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。

■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲注意 …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

- 取付け調整後、本体の鴨居へのかかりが5mm以上あるか確認してください。本体と枠の間にすき間が生じ、本体が枠から外れやすくなり、ケガや故障の原因になります。
- 建付け調整後、本体の鴨居へのかかりが5mm以上か、本体と縦枠の上・下部にチリが均等か、確認してください。本体が外れるおそれがあります。
- 本体に寄りかからないでください。無理な力が加わると、本体が枠から外れやすくなり、ケガや故障の原因になります。

■取付け上のおお願い

- 本製品は、ノンケーシングタイプNC90は壁厚(50~75mm)、NC115は壁厚(76~100mm)、NC156は壁厚(116~130mm)に取付けられます。
- 枠取付けの際は、水準器・下げ振りなどで水平・垂直を確認してください。
- 造作材・建具枠を取付ける時は、必ず接着剤(現場手配)を併用してください。かい木を使用する場合は、かい木の両面に接着剤(現場手配)を塗布してください。
- 現場で使う接着剤は「F☆☆☆☆」又はノンホルムタイプを使用してください。
- 本製品のねじ締付け時には、クラッチ付きドライバーを使用してください。締付けトルクが強すぎると、ねじが空転したり、ねじの頭がとんだり、つぶれたりする場合があります。
- 本製品の組立て・施工時には、指定のねじを使用してください。他のねじを使用すると、部品・部材の脱落や、枠の垂下がり・ゆがみなどの原因となります。(本説明書内で「現場手配」と記されている場合は除きます。)
- 造作材・建具枠の下地材には、必ず乾燥材(含水率20%以下)を使用し、湿潤材は使用しないでください。
- 壁内の通気が悪く、内部結露が発生するおそれがある場合は、防水処理をしてから施工してください。
- 枠の組立て後、ねじれ・引張りなど無理な力を加えないでください。破損する原因になります。
- 枠の取付け時には、ゆがみ・ねじれなどのないように(特に中縦枠)注意してください。
- 建具枠と柱・間柱・まぐさの間には必ずすき間をつくって納めてください。
- 造作材・建具枠と柱・間柱・まぐさの間には必ずかい木を入れてください。
- かい木には、合板などの乾燥剤を使用し、湿潤材は使用しないでください。
- 造作材・建具枠をコンクリートやモルタル(床面)に直付けしないでください。やむを得ず直付けする場合は、造作材・建具枠木口と床面の間に、必ず防水処理をしてください。
- 本体は落下させたり、立てかけるときに衝撃を与えないでください。戸車部の樹脂部品がキズ付き、開閉に支障をきたすおそれがあります。

■部品・部材の明細

■枠セット

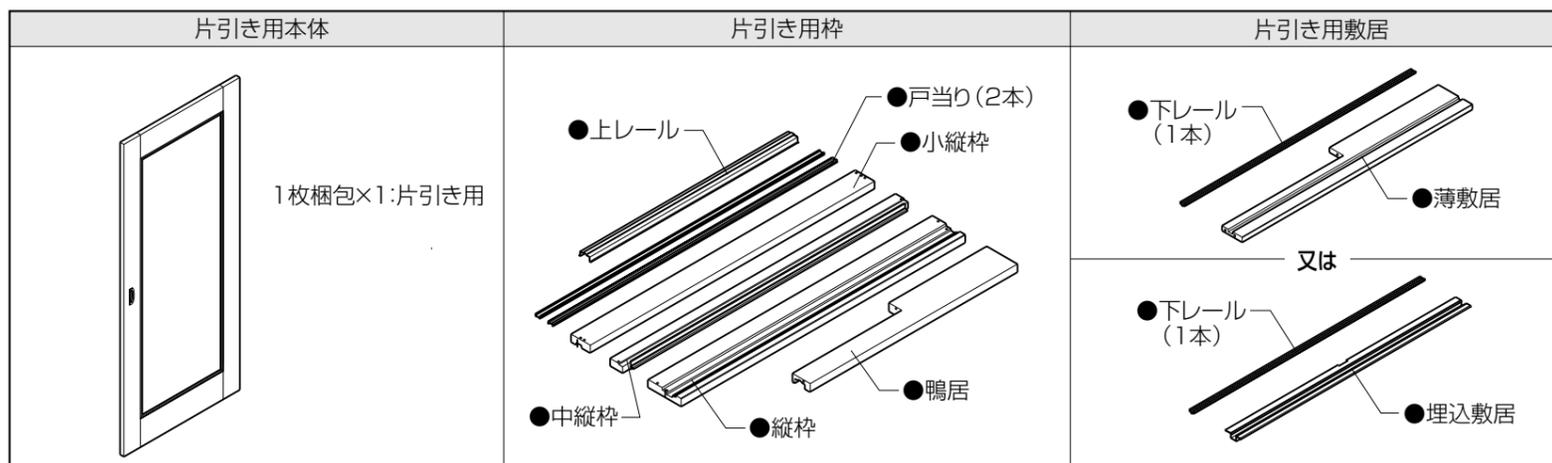
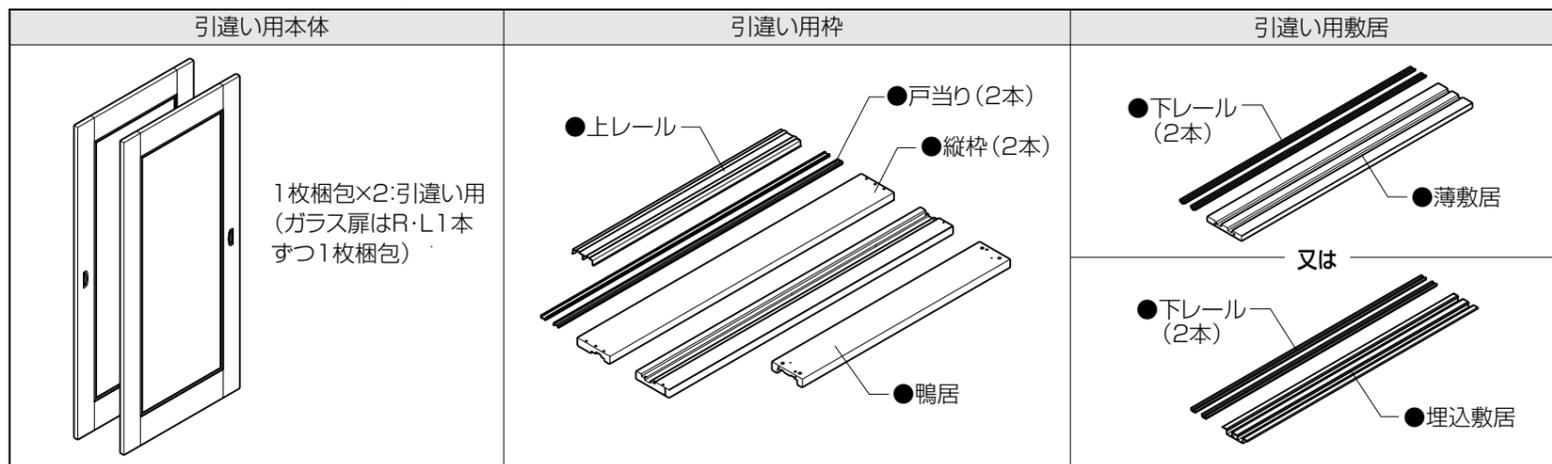
		引違い	片引き
枠	鴨居	1	1
	縦枠	2	1
	中縦枠	—	1
	小縦枠	—	1
	上レール	1	1

		引違い	片引き
敷居	敷居	1	1
	下レール	2	1

		引違い	片引き
部品セット	引違い用	1	—
	片引き用	—	1

■部品・部材の明細

※枠はノックダウン、本体は完成品



■部品セット

〔片引き・引違い用〕

組立て用皿小ねじM4×50	4本
鴨居取付け用トラスタッピンねじφ4×50	5本
穴埋めシールシート (NC90/115のみ)	1枚

〔引違い薄敷居用〕

組立て用皿小ねじM4×50	4本
---------------	----

〔片引き薄敷居用〕

組立て用皿小ねじM4×50	5本
---------------	----

〔引違い埋込敷居用〕

敷居取付け用ナベタッピンねじφ4×40	6本
---------------------	----

〔片引き/埋込敷居用〕

敷居取付け用ナベタッピンねじφ4×40	6本
中縦枠埋込敷居スペーサー	1個

〔引戸錠セット〕

サムターン本体	1個
サムターン取付け用皿小ねじM3×10	2本

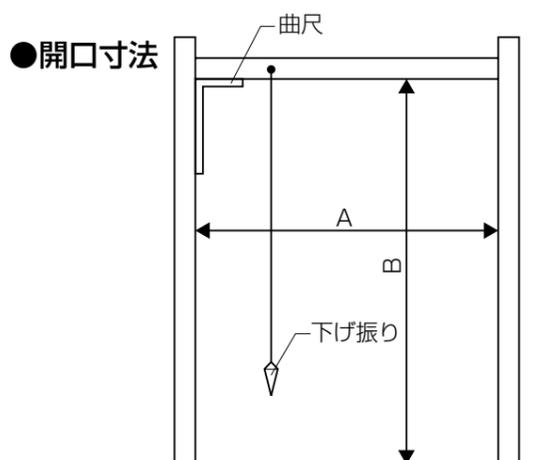
〔縦枠取付けねじセット〕

非木造用 テクスねじ(φ4×45)	200本/箱
木造用 木ねじ(φ3.8×50)	200本/箱

■開口部の作り方

※開口部の水平・垂直を正しく出してください。

開口寸法A	製品寸法W+10mm
開口寸法B	製品寸法H+5mm

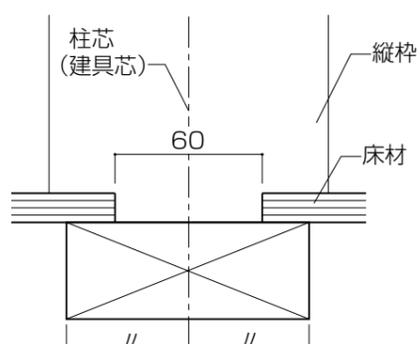


■床の張り方

〔床先張り(枠後付け)の場合〕

●引違い

※床材は、柱芯(建具芯)を中心に60mmあけて張ってください。

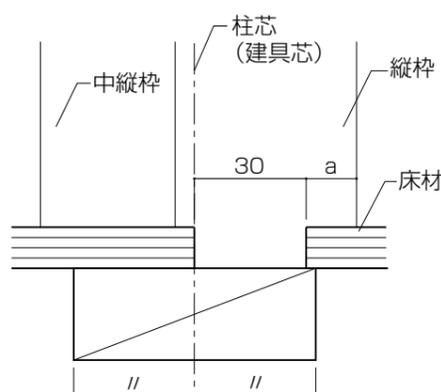


●片引き

※床材は、柱芯(建具芯)より引込み側に30mmあけて張ってください。
柱芯と建具芯が合っていない場合は、縦枠端部よりa寸法内側に入った所に30mmあけて張ってください。

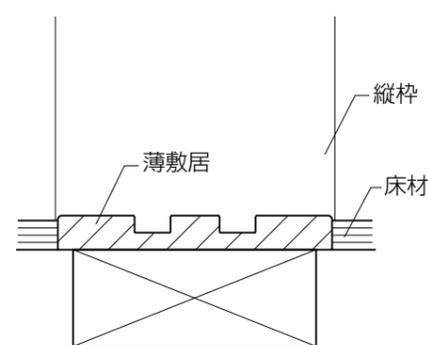
(単位:mm)

枠機種	a寸法
NC90	15
NC115	27.5
NC156	48



〔床後張り(枠先付け)の場合〕

※枠取付け後、縦枠・薄敷居にそって床材を張ってください。



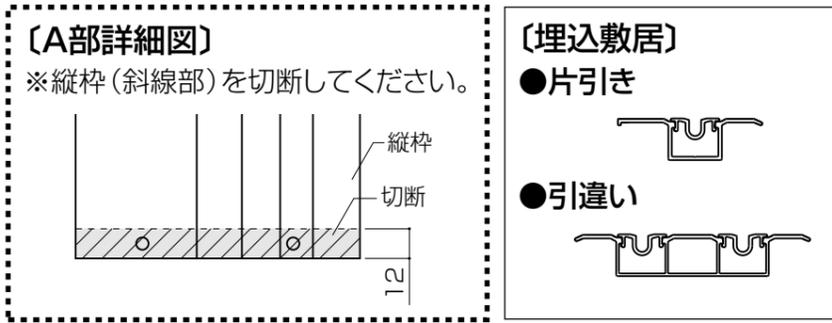
■取付け順序

1 枠の組立て

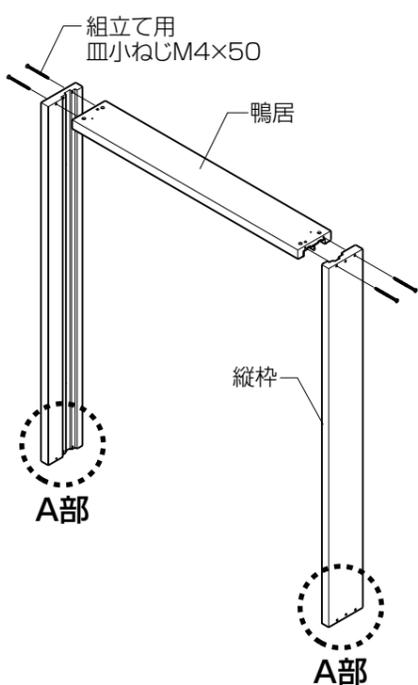
〔床先張り(枠後付け)の場合〕

※埋込敷居を使用してください。

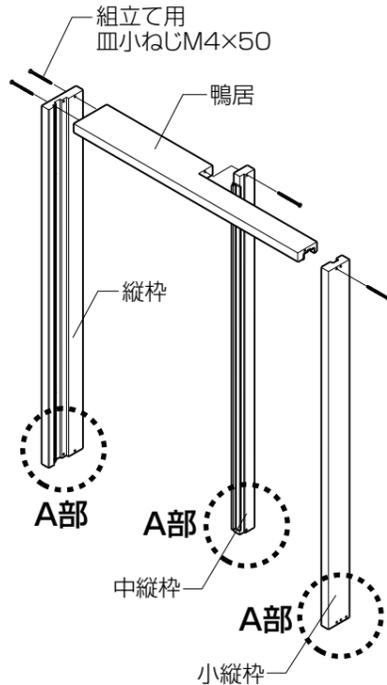
●図のように、各部材を組合わせ、同梱のねじ(皿小ねじM4×50)で固定します。



●引違い枠



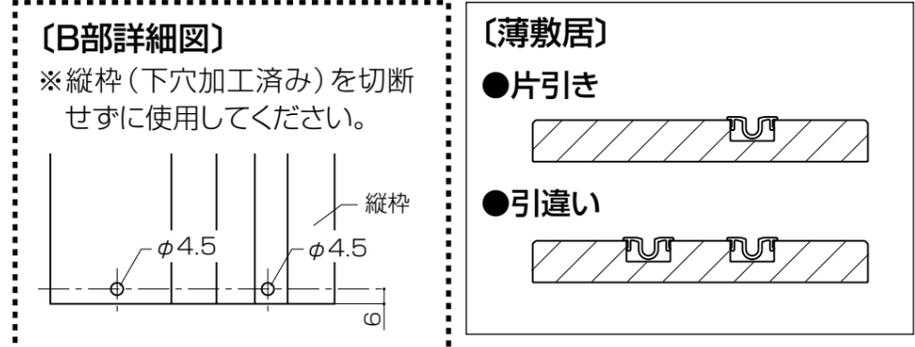
●片引き枠



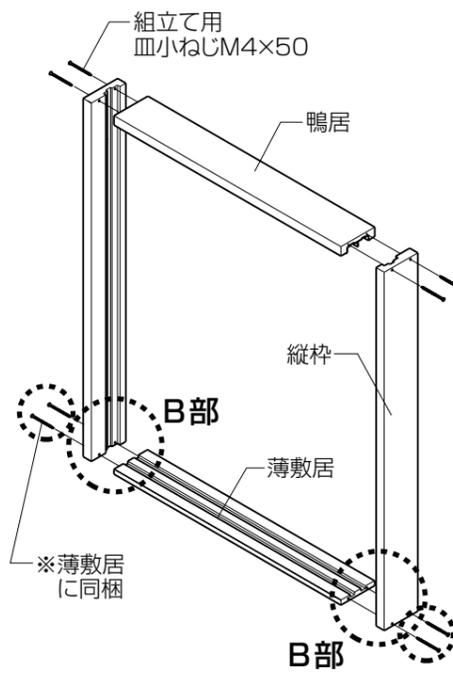
〔床後張り(枠先付け)の場合〕

※薄敷居を使用してください。

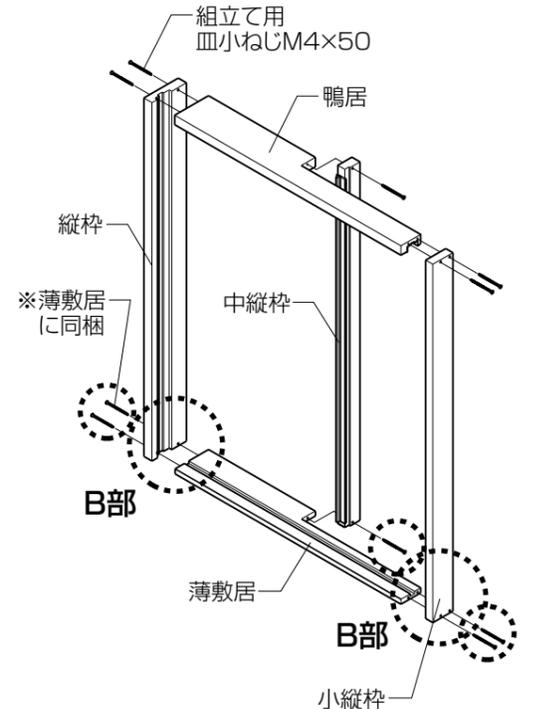
●図のように、各部材を組合わせ、同梱のねじ(皿小ねじM4×50)で固定します。



●引違い枠



●片引き枠



2 枠の取付け

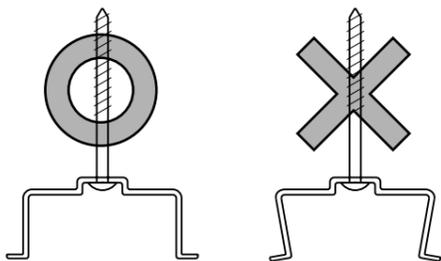
開口部と、縦枠・(中縦枠・小縦枠)・上枠との間にかい木を入れて取付けます。

●鴨居

※鴨居はトラスタップンねじφ4×50で固定してください。

お願い

※鴨居の躯体固定ねじを締込みすぎると、本体の動きが悪くなる場合があります。本体吊込み時に動きが悪い場合は、ねじをゆるめてください。



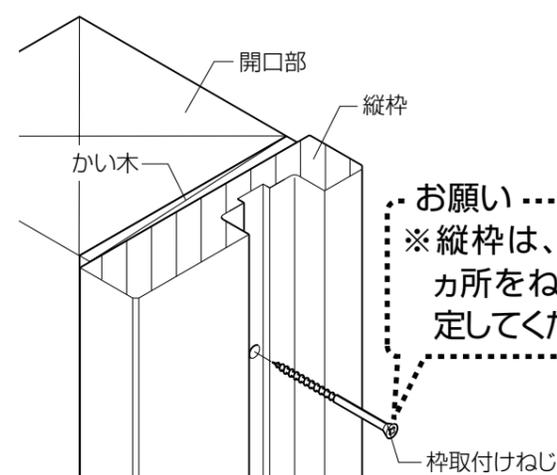
●縦枠・小縦枠

※指定ねじで固定してください。

※枠取付けねじは、現場手配又は有償部品のねじを使用してください。

■指定ねじ

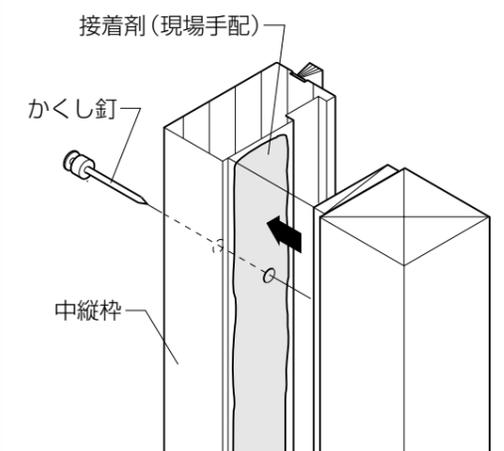
非木造	テクスねじφ4×45
木造	木ねじφ3.8×50



お願い
※縦枠は、最低3カ所をねじで固定してください。

●中縦枠

※裏面に接着剤(現場手配)を塗布し、専用のかくし釘で固定します。



▲注意

●取付け調整後、本体の鴨居へのかかりが5mm以上あるか確認してください。本体と枠の間にすき間が生じ、本体が枠から外れやすくなり、ケガや故障の原因になります。

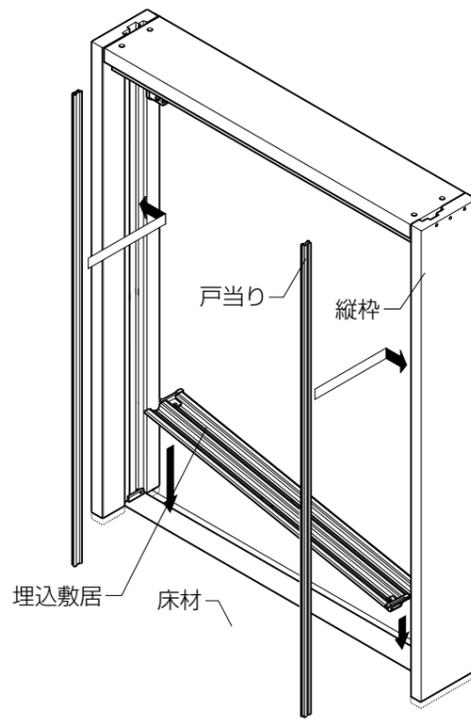
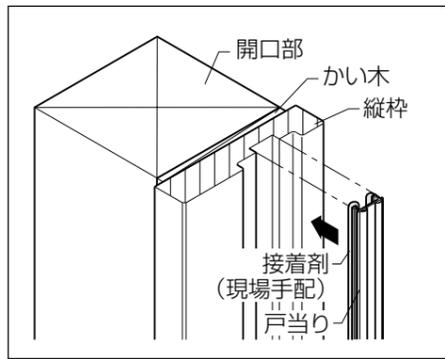
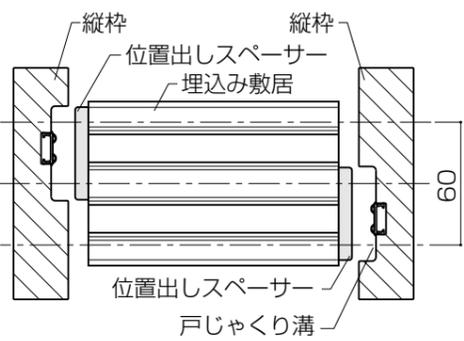
お願い

※片引きの建具引込み部の半壁は、枠を開口部に取付けてから施工してください。

〔埋込敷居の取付け〕

●引違い枠

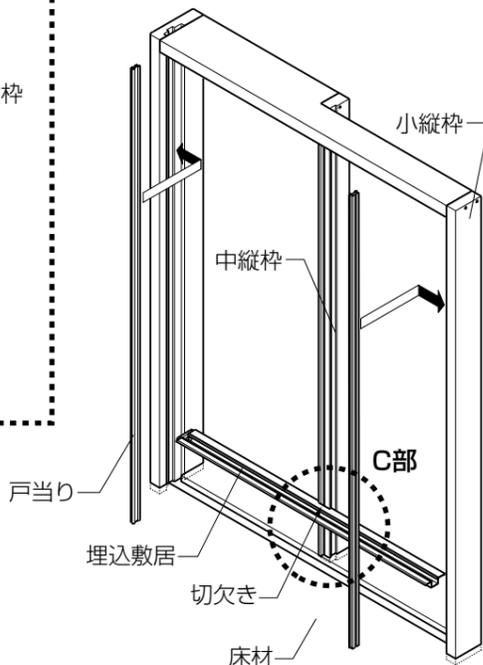
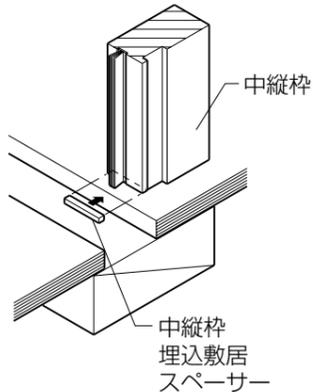
- ①埋込敷居に付いている位置出しスペーサーを、縦枠の戸じゃくり溝に合わせます。
 - ②同梱のねじで固定します。
 - ③戸当りを接着剤（現場手配）で取付け、溝をふさぎます。
- ※戸当りは必ず、敷居取付け後に取付けてください。



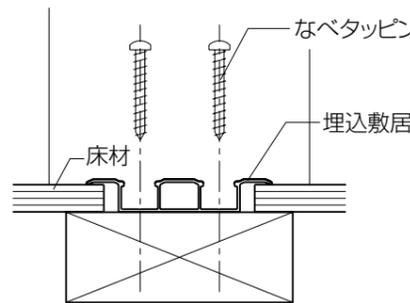
●片引き枠

- ①埋込敷居同梱の中縦枠埋込敷居スペーサーを中縦枠のすき間に入れてください。
 - ②埋込敷居の切欠きを中縦枠に合わせます。
- ※以下は引違い枠を参照してください。

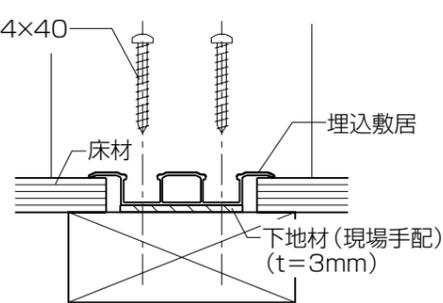
〔C部詳細〕



●床材厚さ 12mm



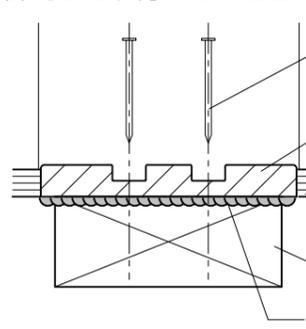
●床材厚さ 15mm



〔薄敷居の取付け〕

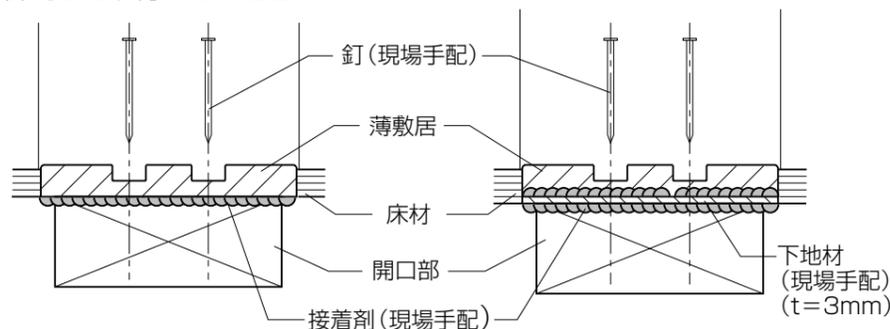
●床材厚さ 12mm

- ※必ず薄敷居に接着剤（現場手配）を付け、躯体に固定してください。
- ※釘は端部より100mm離し、450mmピッチで接着剤（現場手配）と併用して取付けてください。



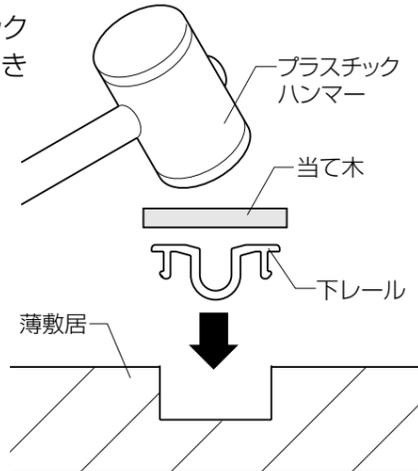
●床材厚さ 15mm

- ※必ず薄敷居と下地材に接着剤（現場手配）を付け、躯体に固定してください。

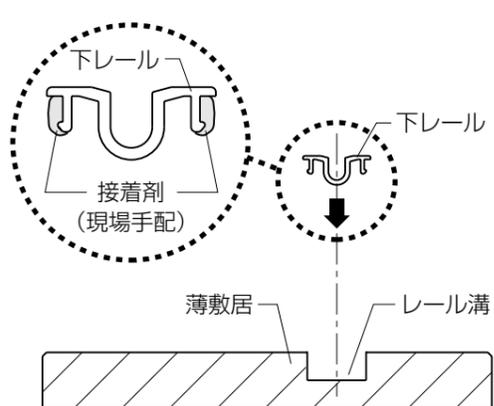


③ 下レールの取付け

- 敷居の溝にプラスチックハンマーなどでたたき込んで固定します。

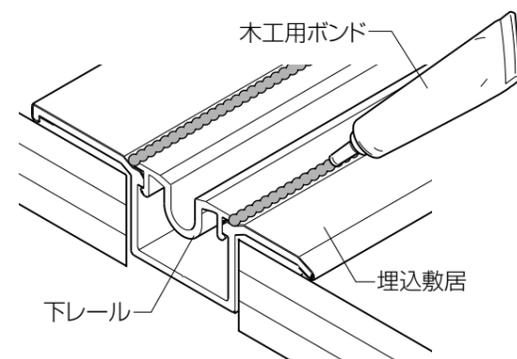


- ※接着剤（現場手配）は、レール溝にガタのある場合に使用してください。

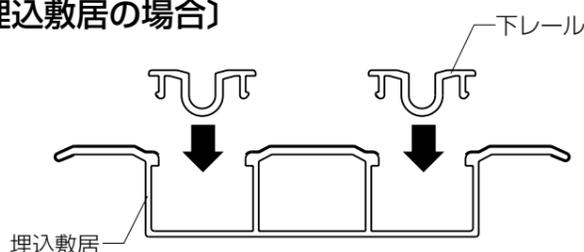


お願い

- ※下レールのガタツキが気になる場合は、木工用ボンドを埋込敷居と下レールのすき間に塗布し、ぬれぞうきんで押込むように充てんしてください。はみだした木工用ボンドは、きれいにふき取ってください。



〔埋込敷居の場合〕



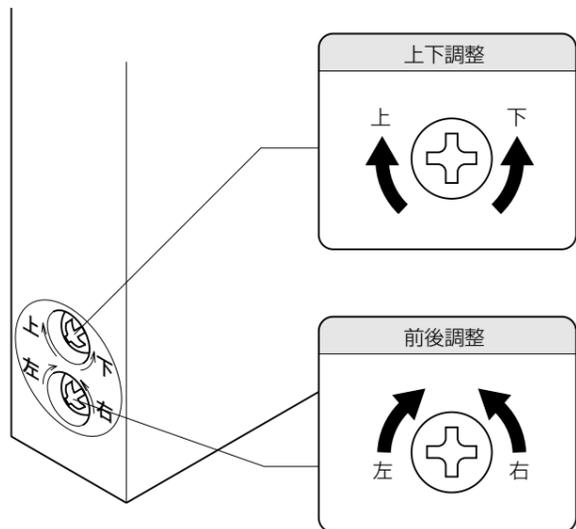
■引戸本体の建付け調整

●本体には、上下方向、左右方向の調整機能が付いています。

〔上下調整(調整幅+4mm、-2mm)〕

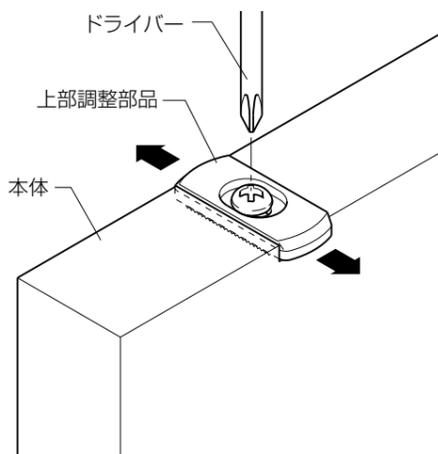
※鴨居に5mm以上かかるよう調整してください。

●本体両下端の上下調整ねじを右に回すと本体が上がり、左に回すと本体が下がります。



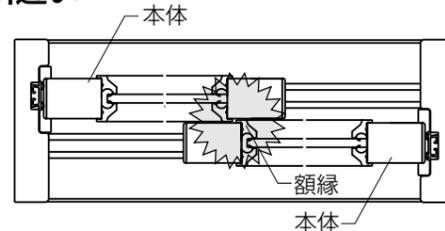
〔前後調整(調整幅±2mm)〕

- ①本体両下端の前後調整ねじを左に回すと本体が右に動き、右に回すと左に動きます。
- ②本体上端の上部調整部品のねじをゆるめ、①で調整した分だけ上部調整部品をずらし、ねじを締め直します。(本体が常に垂直になるように調整してください。)

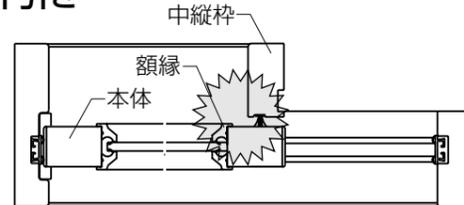


※前後調整する場合は、本体同士がぶつからないようにご注意ください。又、本体と中縦枠モヘアが接触しすぎて、開閉が重くならないよう調整してください。

●引違い



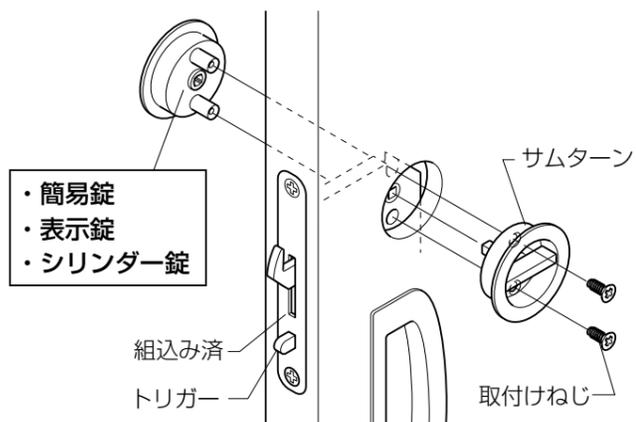
●片引き



■サムターンの取付け

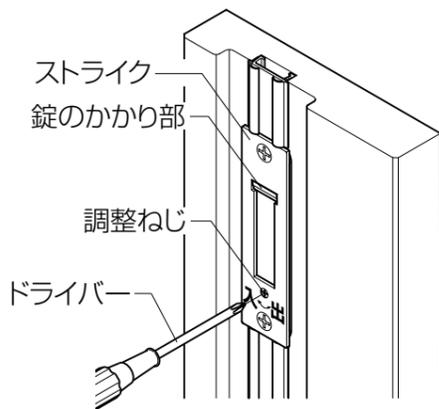
別売りの錠を下図のように組立ててください。

※取付けねじを締める時に、いったんトリガーを押えて閉状態にしてから取付けてください。



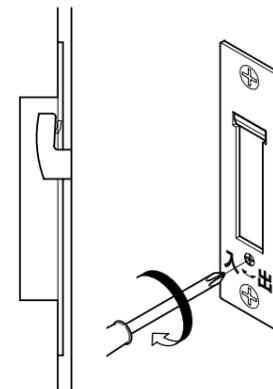
〔引戸錠のかかり調整〕

ストライクの調整ねじを左に回すと錠のかかり部が出て、右に回すと錠のかかり部が奥に入ります。



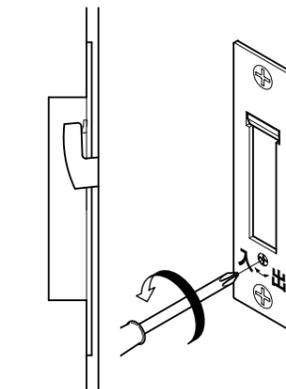
●本体と枠のすき間が大きい場合

調整ねじを右に回して調整してください。



●錠がかかりにくい場合

調整ねじを左に回して調整してください。



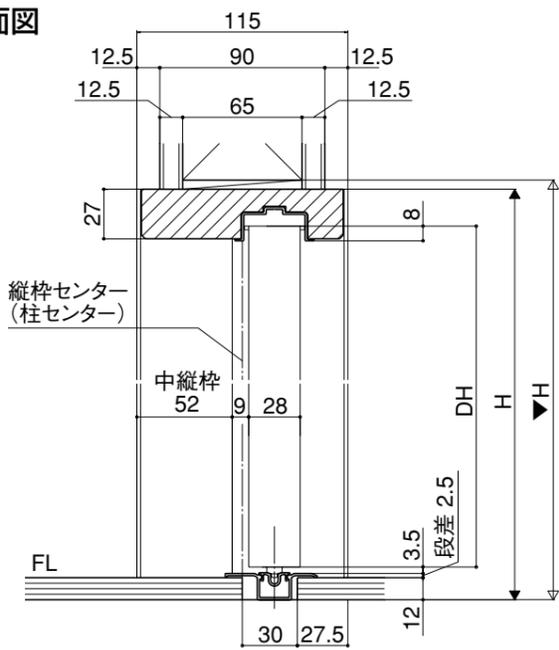
お願い

- ※調整は、必ず手回しドライバーを使用してください。
- ※電動ドリルは使用しないでください。

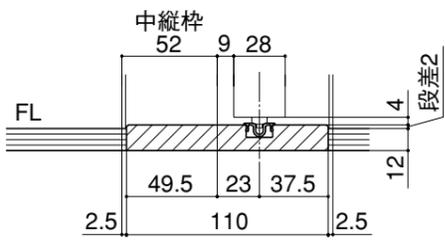
■納まり図

●片引戸ユニット ノンケーシング

縦断面図

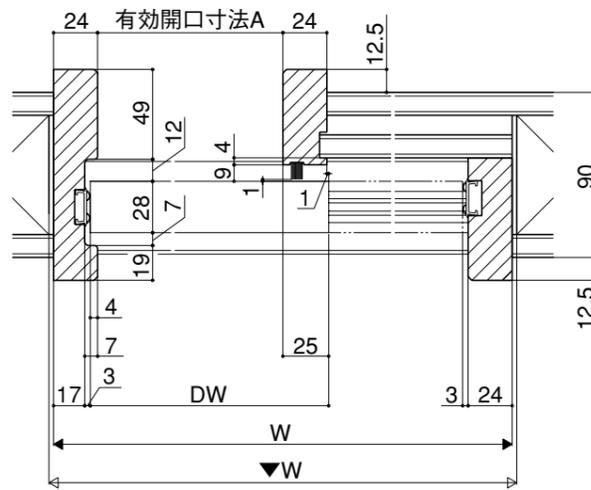


埋込敷居使用



薄敷居使用

横断面図



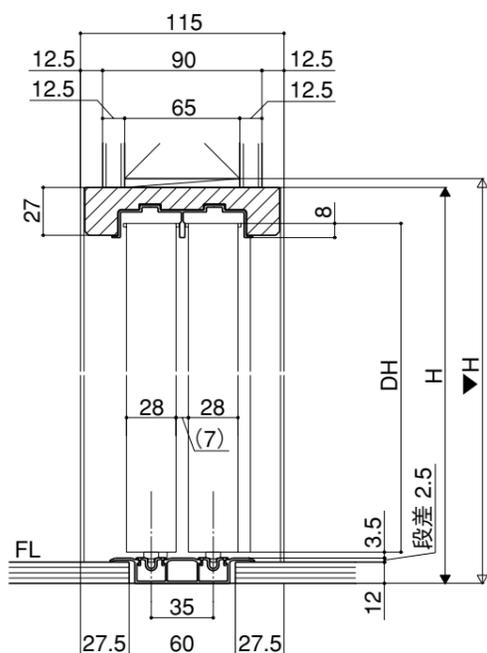
※枠の見込み寸法が変わっても、レールの位置は中縦枠木口より共通の位置となります。

基本寸法 (mm)	W呼称	12	14	16
	W	1192	1478	1644
	H呼称	20		
	H	2035		

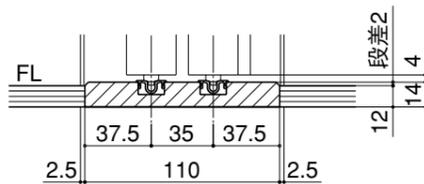
W呼称 (枠外寸法)	A寸法
W12 (1192)	556
W14 (1478)	699
W16 (1644)	782

●引違戸2枚建ユニット ノンケーシング

縦断面図

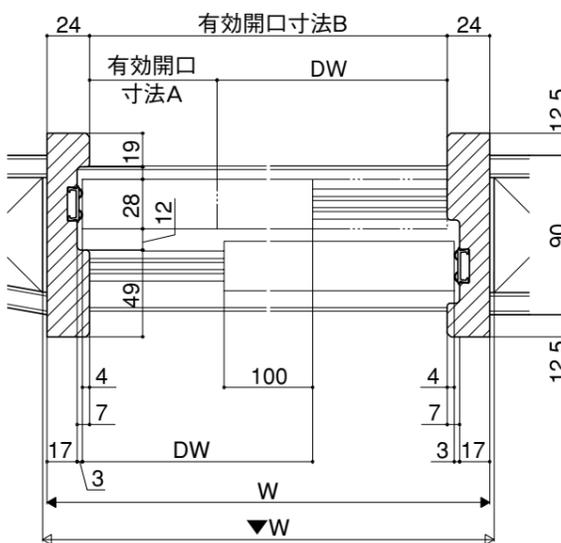


埋込敷居使用



薄敷居使用

横断面図



※枠の見込み寸法が変わっても、敷居の位置は縦枠のセンターより共通の位置となります。

基本寸法 (mm)	W呼称	16
	W	1644
	H呼称	20
	H	2035

W呼称 (枠外寸法)	A寸法	B寸法
W16 (1644)	744	1596